

令和7年5月16日(金)

50th
ANNIVERSARY



体育祭に向けた学年練習が盛り上がってきました。1年生が練習していたのは、「玉入れ」です。通常の玉入れは、高く設置されたかごに向かって玉を入れますが、今回のルールは、籠を背負って逃げる先生を生徒が追いかけて玉を入れます。いわゆる「追いかけて玉入れ」です。生徒たちは実に楽しそうに先生を追いかけていますが、逃げる先生は大変です。繰り返しの猛ダッシュで、ヘロヘロになっていました。



2年生の道徳は、いじめについて考える授業でした。「わたしのせいじゃない」という教材です。この教材は、海外の絵本をもとにしています。いじめに対する傍観者としての無責任な気持ちがいじめを生んでいることを理解し、いじめを断ち切るために社会正義を貫こうとする態度を養うことが、本時のねらいです。いじめは、加害者と被害者の直接的な関係性だけでなく、それを取り巻く傍観者の存在がいじめのエスカレートに大きくかかわっています。「わたしのせいじゃない」に登場する傍観者の意識の14人は、被害者に様々な声掛けを行います。「男の子が泣いているのは、自分のせいじゃない。」と口をそろえて言います。本時は、傍観者の関わりに焦点をあてて、どの声掛けが傷つくかを考えました。自分の考えを付箋に書いてワークシートに貼ったり、グループ意見交換を行ったりする中で明らかになってきたことは、人によって傷つく言葉は違うということです。



傍観者の言葉は、加害者の言葉と変わらないのです。授業の終末における先生の説話は、加害者や傍観者の発する言葉は、当の本人は忘れていくことが多いが、言葉を受け止めて悲しい思いをした人は、それを忘れることはない、というものでした。相手の気持ちを考えて適切な言葉を使うことは容易ではありませんが、その努力を怠ってしまうと、いじめの負の連鎖は断ち切ることができません。

今、市内小中学校では、インフルエンザが流行しています。本校においても、数日前からその兆しがありました。本日、インフルエンザや発熱等体調不良による欠席者数が増えたため、2年生の1クラスを学級閉鎖としました。他のクラスにおいても、発熱等が増えております。体育祭練習の疲れで、ウイルスへの抵抗力も落ちている可能性もあることから、十分な睡眠と食事を心がけ、体調管理を行ってほしいと思います。よろしくお願いいたします。

5月19日～21日は、出張・会議等の校務事情により、「WEST LIFE 校長の目」はお休みします。